

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一階の20畳のメインプレイルームの他、二階に6畳の第二訓練室を確保しております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			理学療法士・保育士・児童指導員を適切に配置しておりますが、ご利用児童数増加に伴い増員の予定です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	玄関や部屋の入口に段差があります。スロープ設置などを検討します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務の煩雑性を認める際は、スタッフ間で課題を共有し、全体ミーティングを行い、業務改善を図っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者さま向けのアンケートを実施し、保護者さまのご意見やご意向に対しては、その都度スタッフと話し合い、対応を検討しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			弊社ホームページにより、公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		個人情報保護の観点から、現在は社内評価のみになってはいますが、必要に応じ、第三者評価を実施して参ります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待防止、拘束禁止、感染予防の社内委員会活動に加え、療育理念と支援技術の共有、事故防止、防犯対策などの社内研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の療育活動のみならず、ご家庭や学校での様子からスタッフ全員でアセスメントを重ね、お子さまたちの個別支援計画に反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			Vineland-IIを基盤としたアセスメントシートを用い、高精度の特性分析に努めています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフで話し合い、新たな挑戦ができる多彩な活動プログラムを立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			安全面に配慮しつつ、多様な外出活動や季節のイベントも取り入れ、工夫を重ねております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			お子さまのライフステージに応じた各位の課題・期待する役割を設定し、将来の自立に向けて支援しております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さまの状況や特性に応じた活動プログラムを組み合わせ、個別支援計画に反映させています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			お迎え前や下校時間前の時間を用い、その日の支援内容やスタッフの役割について話し合い、プログラムに臨んでいます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			プログラム終了後、スタッフ全体で話し合い、その日の振り返りと今後の対応指針についてなどの課題の共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画に記載した支援課題に対する記録を毎日残し、支援の検証と改善に活かしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			相談支援専門員や他支援者とも連携し、計画の見直しに反映させています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			日常生活の充実や創作活動、地域交流、余暇の提供を意識して支援しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			常勤の児童発達支援管理責任者と支援現場の責任者がサービス担当者会議に積極的に参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校側との適宜の連絡調整や zoom を使った連絡会議、直接対面の担当者会議を行い、送迎に関する事項や支援の方向性の検討を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要なお子さまのご利用が現在のところありませんが、必要時は連絡体制を整えていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所を訪問させていただいたり、来所して頂いたりして、情報共有と相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービスに移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		先日、高校を卒業した児童さまには就業支援事業所の見学などを企画・実施し、就労までに残された課題と目標を共有し、卒業までに一般就労することができました。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			福岡県社会福祉協議会が主催する研修会や、地域支援者が集う専門研修会に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園や児童会館などで地域の子供たちと一緒にあそび、交流しています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	自立支援協議会への参加はまだ行っておりませんが、今後検討して参ります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳、事業所の公式LINE等でお子さまの成長や残されている課題について共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者さまのご不安や心配ごとを最優先にして、ABA(応用行動分析)の観点から、助言をお伝えしています。
	保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて、個別モニタリング会議や電話相談、LINE 相談に応じています。相談結果は支援に反映させるため、スタッフと共有しています。
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、父母の会の開催は行っておりませんが、今後、検討して参ります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者さまや利用児童さまから苦情やご指摘があった際は、速やかに事実確認を行い、責任者が事態の改善に向けて対応しております。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報の発行はありませんが、毎月、月間プログラムを発行し、また公式LINEを活用しながら、保護者さまとの情報の共有に努めています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには十分注意しております。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			フェイスシートや絵カードなどのツールを活用し、支援しております。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所の行事の招待はまだ行っていませんが、隣接する公園の清掃活動を自主的に行っております。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		事業所内での共有は行っておりますが、保護者さまへの周知はできていませんでした。今後周知できるように改善して参ります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所内外で避難訓練を行ったり、防災センターで体験訓練を行っています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に社内勉強会を行い、虐待防止に取り組んでいます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		当事業所では、身体拘束を禁じており、実際に身体拘束が必要となる事例は発生していません。今後、万一、身体拘束が必要な状況が出てくれば、必要な措置を速やかに講じて参ります。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者さまと連携を密にしつつ、医師の指示のもとに対応させて頂いています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成しており、報告書を記入し、原因や対応について検討しています。